

保証書

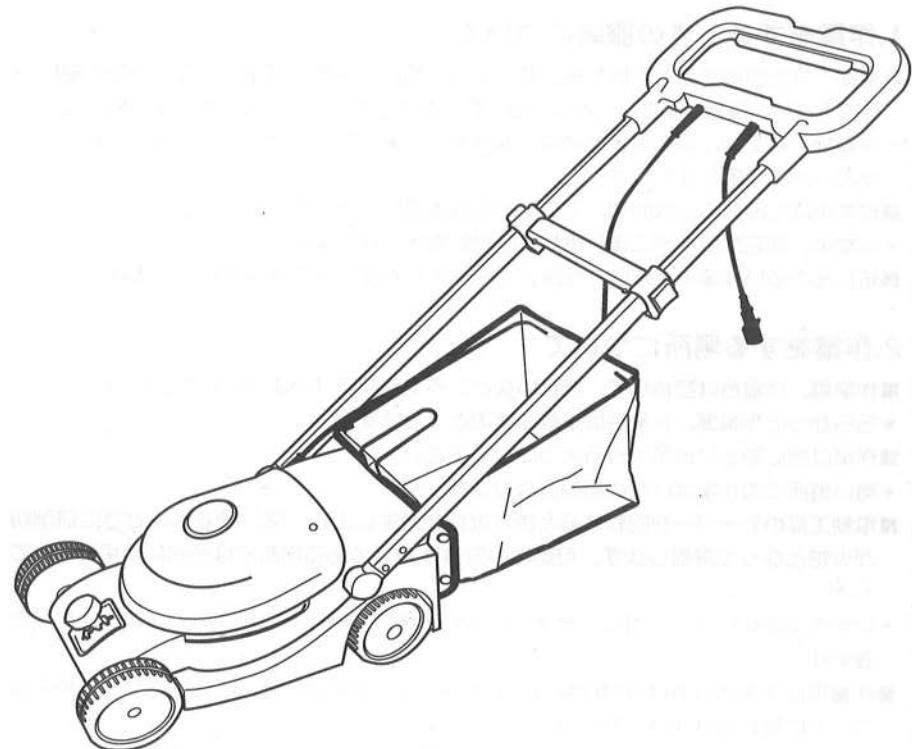
保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

| | | | |
|----------|------------------|--------|------|
| 形名 | 電気芝刈機 SGR-200 | ※お買上げ日 | 保証期間 |
| | | 平成 年月日 | 1年 |
| ※お客様 | ご住所 | 〒 | |
| | ご芳名 | | |
| | 電話 | () | |
| 販※ 売店 | 住所 店名 | ☎ () | |

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (二) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

ロータリー式 電気芝刈機 SGR-200 取扱説明書



□ 二重絶縁

このたびは電気芝刈機をお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
- ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
（本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。）

△ 警 告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業者以外の人がいたり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警 告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで温度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

(注)前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

電気芝刈機(ロータリー式)ご使用上の注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、芝刈機としてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が、輸送途上において衝撃等により接続金具が外れて破損することがあります。使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、差込みプラグを点検してください。電源コード、差込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は、銘板に表示してあるAC 100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。又、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 本機を雨中や湿気の多いところで使用又は、放置しないでください。又、ぬれた手で差込みプラグに触れないで下さい。感電の恐れがあり危険です。
- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと、本機が振れ、事故の原因になります。
- 雨上がり、散水直後のぬれた芝の刈り込みはしないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 本機は、スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません、刃物や処理物の排出口には手や顔、足などを近づけないでください。事故の原因になります。
- 芝刈作業前に、小石、棒切れ等作業場所にある障害物を取り除いてください。刃に当たると障害物が飛散し、けがの原因になります。
- 作業中草叢、刃に処理物がつまたときや清掃をするときは、スイッチを切り電源プラグを抜いてからおこなってください。スイッチを入れ、電源プラグを差しこんだままで突然回転し思わぬ事故の原因になります。
- 本機の持ち運び、刃物の点検、交換や処理物の除去にはスイッチを切り、差しこみプラグを電源から抜いて行ってください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意の起動により事故の原因になります。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤つて切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電の恐れがあります。
- 刃物にひび、欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
- 小さいお子様やペットのいるそばで本機を使わないでください、また作業中も近づかないようご注意ください。
- 小さいお子様や不慣れな方には、絶対に使わせないでください。事故の原因になります。
- 本機を連續回転させたまま放置しないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 作業者は長袖、長ズボン、運動靴、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください。処理物が飛散したとき事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本機の異常にきづいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)

△ 注意

- 作業中集草バックをはずして使用しないでください。障害物等を刃に巻き込むと飛散しけがの原因になります。
- 本機を持ち運ぶときは刃物だけがをする事があります。持ち運びには注意をしてください。
- 本機を直射日光の当たる所、温度や湿度の高いところには放置しないでください。故障の原因になります。
- 使用後は、必ず屋内でお子様の手が届かないところに保管してください。

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの関係（ご参考）

| コードの太さ（導体公称断面積） | 延長コードの長さ |
|----------------------|----------|
| 1.25 mm ² | 15 m |
| 2.0 mm ² | 20 m |

図 ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

仕様明細

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 形 式 | SGR-200 |
| 電 壓 | AC100V |
| 周 波 数 | 50/60Hz |
| 全 負 荷 電 流 | 4.2A |
| 消 費 電 力 | 400W |
| 回 転 数 | 7,500min ⁻¹ |
| 刈り込み高さ | 10, 15, 20, 25mm (4段式) |
| 刈り込み幅 | 195mm |
| 刃 の 方 式 | 刈払式両面刃(6枚付)外径200mm×内径25.4mm |
| ラッピング方式 | 逆回転研磨方式 |
| 機 体 尺 法 | ※790(長さ)×330(幅)×190(高さ)mm |
| 質 量 | 本体5.2kg 集草袋0.3kg(フレーム含む) |
| 絶 縁 方 式 | 回二重絶縁 |
| 定 格 時 間 | 30分 |

※の寸法は、ハンドルの高さを最小にして折りたたんだ状態の寸法です。

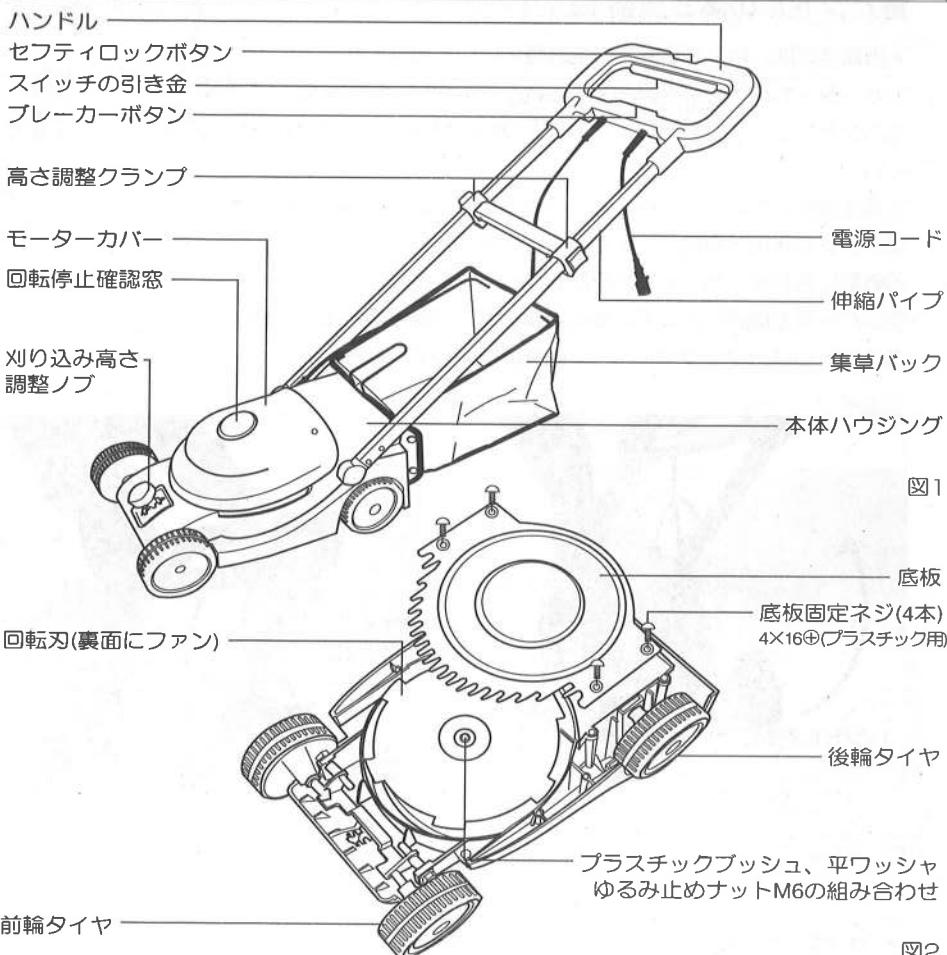
用途

- 芝生の刈り込み

付属品の明細

| 部品名 | | | | | |
|-------|----------------|-------------|-------|-----|-----------------|
| 集草バック | 延長コード (10m) | ボックス スパナ | コード止め | フック | フランジ空転 防止スパナ |
| | | | | | |

部品の名称



ご使用前の準備

△ 注意

- ご使用前の準備では必ずスイッチが切れていることを確認してください。又、差込みプラグを電源から抜いて行ってください。
- 集草バックを必ず取り付けてください。障害物等を刃に巻き込むと飛散し、けがの原因になります。

■ハンドルの高さ調整 (図3,4参照)

- 出荷時には、ハンドルを押し込み最小にしてあります。

①モーターカバーを手で押さえて、ハンドルを起こしてください。

図ハンドルは、2カ所で突起によりきつい所がありますが、最後まで引き起こしてください。

②高さ調整クランプのレバーを下向きに回して固定を解除します。

③ハンドルを持ち伸縮パイプを引き出します。

④姿勢に合わせてハンドルの位置を決めてください。

⑤レバーを上向きに回して、高さ調整クランプを固定してください。

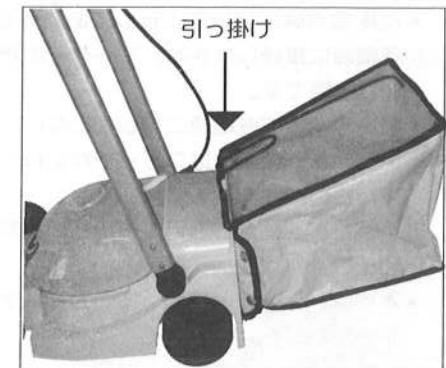
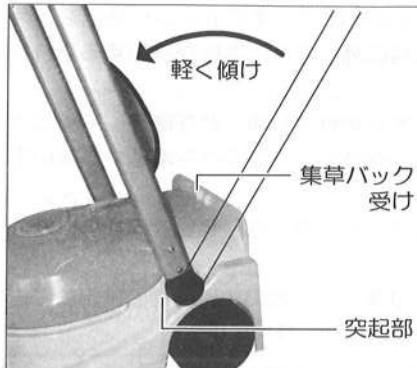
図ハンドルは、クランプレバーで確実に固定してください。



■集草バックの取付け方

①ハンドルを前方に突起で止まるところまで軽く傾けてください。(図5参照)

②本機後部集草バック受けに引っ掛けしてください。(図6参照)



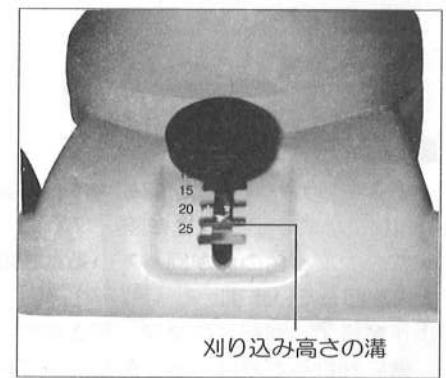
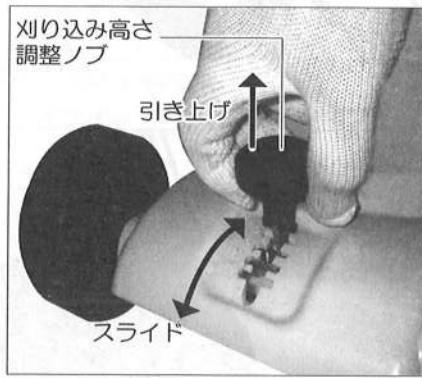
■刈り込みの高さ設定

①刈り込み高さは、10, 15, 20, 25mmの4段式です。

②刈り込み高さ調整ノブを引き上げてスライドさせてください。(図7参照)

③任意の刈り込み高さの溝に入れてください。(図8参照)

図刈り込み高さ調整ノブが任意の溝に確実に入り、上下にスライドしないことを確認してください。



図刈り込み高さの目盛りは、刈った後の芝の長さ(mm)です。

地面の起伏などで多少長さが変わることがありますので、あくまでも目安としてください。

■スイッチの操作について

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- スイッチを固定しないでください。緊急のときにモーターが停止せず思わぬ原因になります。
- 本機は、スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません、刃物や処理物の排出口には手や足などを近づけないでください。事故の原因になります。

- スイッチはセフティロックボタンを押した状態でスイッチの引き金を引いてください。
(図9参照)

■スイッチはセフティロックボタンと引き金を同時に操作しないと入りません。

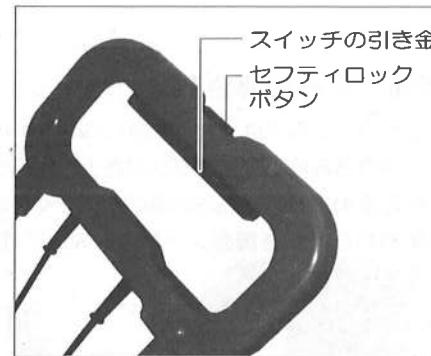


図9

■回転刃停止確認について

- モーターカバー上面に回転刃停止確認窓が付いています。(図10参照)
 - 窓の中で黄色の点が回っているときは回転刃が回っています。
- 作業終了、回転刃の交換、高さ調整など本機に触れるときは、必ず黄色の点が停止していることを確認してください。



図10

ブレーカーの操作と再起動について

⚠ 注意

- ブレーカーの復帰作業では、必ず差込プラグを電源から抜いてください。不意の起動により思わぬ事故の原因になります。

- 作業中、回転部に芝や異物が巻き付いたときモーターの過電流保護のためブレーカーが作動してモーターが停止します。

②再起動の方法

- スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を裏返してください。
- 底板を外し回転刃に巻き付いた芝や異物を取り除いてください。(図11参照)
- 必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。
- 底板を取り付けてください。
- 本機を元に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ブレーカーボタンを押してください。
(図12参照)

- スイッチの引き金を引いて、モーター起動の確認をしてください。

■上記方法で再起動しないときは、最初からやり直してください。それでも回転しないときは弊社までご連絡ください。

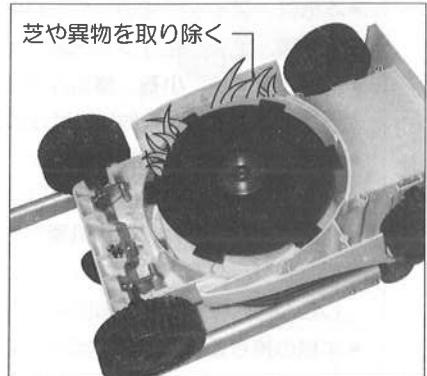


図11

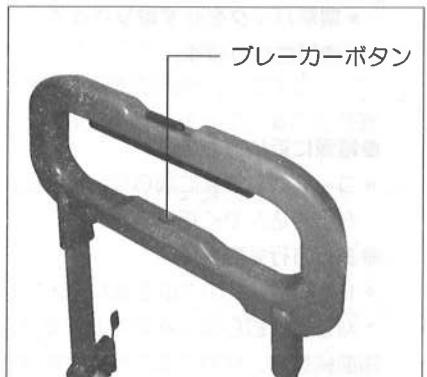


図12

刈り込み作業について

△ 注意

- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと本機が振れ、事故の原因になります。
- 雨上がり、散水直後のぬれた芝の刈り込みはしないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 本機は、スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません、刃物や処理物の排出口には手や顔、足などを近づけないでください。事故の原因になります。
- 芝刈作業前に、小石、棒切れ等作業場所にある障害物を取り除いてください。刃に当たると障害物が飛散し、けがの原因になります。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電の恐れがあります。
- 作業中集草パック、刃に処理物がつまつたときや清掃をするときは、スイッチを切り電源プラグを抜いてからおこなってください。スイッチを入れ、電源プラグを差しこんだままですと突然回転し思わぬ事故の原因になります。
- 本機の持ち運び、刃物の点検、交換や処理物の除去にはスイッチを切り、差しこみプラグを電源から抜いて行ってください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意の起動により事故の原因になります。
- 集草パックを必ず取り付けてください。障害物等を刃に巻き込むと飛散し、けがの原因になります。

● 電源に近い方から

- コードがじゃまにならないように、電源に近い方から刈込んでください。

● 進行方向を変えて

- 一度刈った幅の1/3位を重ねて、進行方向を変えて刈ると、むらなく刈ることができます。

■ 前輪後方、刈り位置の目安線を参考にしてください。(図13参照)



図13

● 長く伸びた芝刈

- 長く伸びた芝は、刈りあがりを高くして刈込んでから、日をおいて順次短く刈ってください。

長く伸びた芝をいきなり短く刈ると、回転部に芝が巻き付いて故障の原因になります。

● 刈込み速度

- 刈込み速度は、1mを4~5秒くらいを目安として刈込んでください。

長く伸びた芝はゆっくりと押し歩いてください。

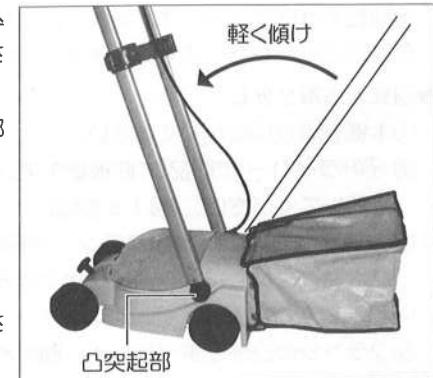


図14

● 集草パックにたまる芝

- ハンドルを前方に突起で止まるところまで軽く傾けてください。(図14参照)

● 集草パックにたまる芝は、パッカー杯になる前に捨ててください。

長く伸びた芝など刈り取った芝の状態で、排出口付近に芝がたまることがあります。モーターに強い負荷がかかり、故障の原因になりますので早めに捨ててください。

保守、点検について

- 点検・整備・刃物の交換の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。
- スイッチを切っても刃物はすぐに止まりません、必ず刃物が止まっていることを確認してください、けがの原因になります。
- 点検・整備・刃物の交換の際には、手袋をしてください、けがの原因になります。

■ 使用後の手入れ

- 各部のネジがゆるんでいないか、定期的に点検をしてください。特に底板を外し、回転刃の締め付けにゆるみがないか確認してください。
- 底板を外し、刃物についた草や土などを取り除いてください。
- 本体を乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナーなど石油類などの清掃、又、水洗いは絶対しないでください。
- 保管は高温にならず、湿気の少ない、お子様の手のとどかないところに保管してください。

■回転刃の交換

- ①回転刃は両面使用です。切れ味が落ちたら面交換をしてください。
- ②抜けがの恐れがあります。必ず手袋を着用してください。

●回転刃の取り外し

- ①本機を裏返しにしてください。
- ②+ドライバー(市販品)で底板固定ネジ(4本)(4×16+プラスチック用)をぬいて、底板を外してください。(図15参照)
- ③フランジの穴に付属のフランジ空転防止スパナを差し、フランジの空転を止めてください。付属のボックススパナでゆるみ止めナットを外してください。(図16参照)
- ④回転刃を持ち上げ、回転軸から外してください。
- ⑤フランジの凸部を手で押して、回転刃からフランジを外してください。(図17参照)

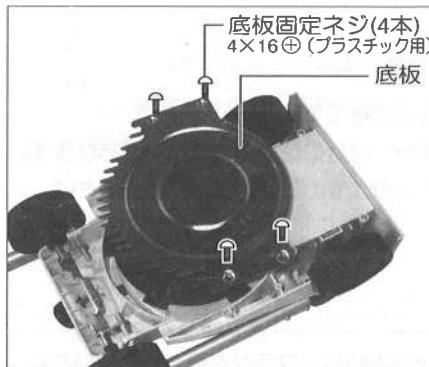


図15

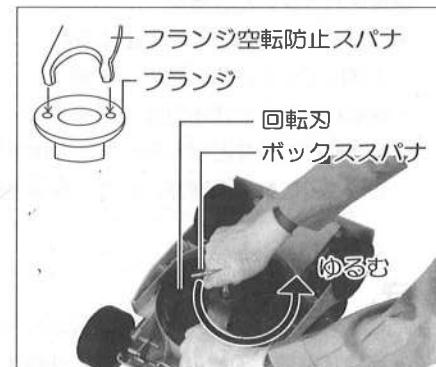


図16

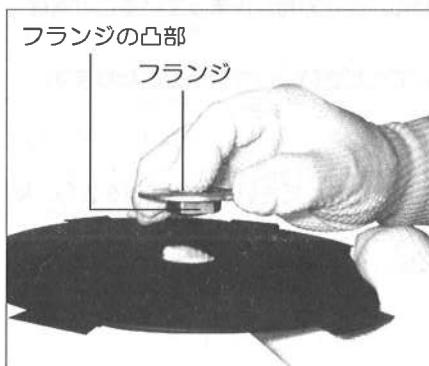


図17

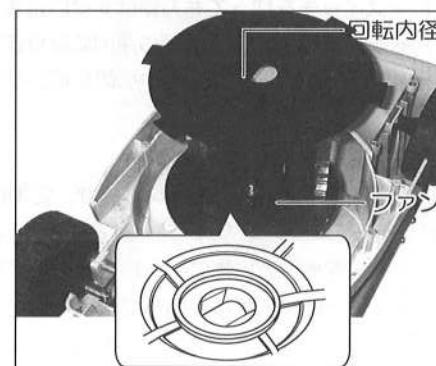


図18

●回転刃の取り付け

①回転刃を裏返してファンに乗せ、ファンの凹円に回転刃の内径をおおよそ合わせてください。(図18参照)

②フランジの凸部を下にして回転刃の内径に差込んでください。(図19参照)

③ファンの凹にフランジの凸部が噛み合い、フランジが回転刃に密着したことを確認してください。

④プラスチックブッシュ→平ワッシャ→ゆるみ止めナットの順に回転軸に取付け、付属のフランジ空転防止スパナでフランジの空転を止め、付属のボックススパナでゆるみ止めナットを確実に締付けてください。(図19参照)

⑤プラスチックブッシュは、フランジの平面と平らになるように取り付けてください。

⑥ゆるみ止めナットは確実に締め付けてください。確実に締め付けないで本機をご使用しますと、回転刃が外れて重大な事故につながります。

⑦底板を底板固定ネジ(4本)で確実に締付けてください。(図20参照)

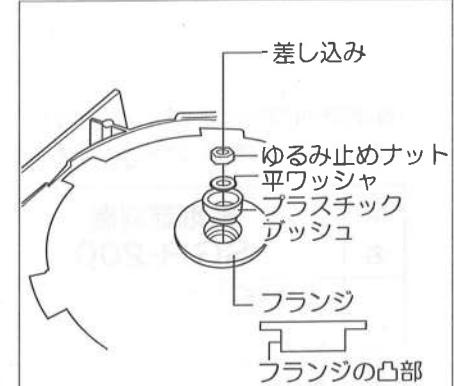


図19



図20

■修理について

- 本機に異常がありましたらお買い上げの販売店、または弊社にご連絡下さい。(または修理に出して下さい。)